

SOCIAL DISTANCE



市議会だより

市議会ホームページのご案内

<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/sigikai/>

市議会だよりや本会議の
会議録、インターネット中継
などがご覧いただけます。



新型コロナワクチン接種に関するお知らせ

希望する全ての方が接種を完了できるよう、引き続き集団接種の予約を受け付けています。ワクチン接種に関する詳細については、市ホームページをご覧ください。

市ホームページはコチラ▶

接種後も引き続き、マスク着用・手指消毒など基本的な感染対策の徹底をお願いします。



ワクチン接種の予約・問い合わせ先

- ①インターネット(予約専用サイト)
<https://v-yoyaku.jp/401005-kitakyushu>
※予約完了後に、「マイページ」で1回目と2回目の予約内容を必ず確認してください。
- ②コロナワクチンコールセンター
☎0120・489・199 受付時間 9～17時
※障害のある方・妊娠中の方専用コールセンター
☎0120・489・474
聴覚障害のある方はFAX383・0820
- ③区役所相談窓口 月～金曜日(祝・休日は除く) 9～17時

9月定例会が開かれました

9月定例会が令和3年9月2日から10月1日まで30日間の会期で開かれました。市長から48件の議案が提出され、審議の結果、すべての議案について原案のとおり決定しました。また、議員から提出された議案は17件で、うち12件を可決しました。

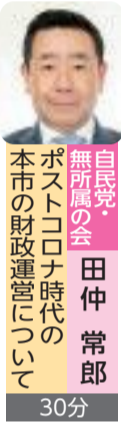
主な内容	1～3面	本会議での会派質疑・一般質問と答弁 など
	4面	本会議での一般質疑と答弁、決算特別委員会での質疑項目、議案に対する各会派の賛否一覧、請願・陳情の審議結果 など

本会議での質疑・質問と答弁

この市議会だよりでは、本会議での質疑・質問と答弁の要約したものを掲載しています。詳細な会議録は、12月上旬頃から、市立文書館、中央図書館、門司・小倉南・若松・八幡・八幡西・戸畑図書館、市議会事務局でご覧いただけます。また、市議会のホームページには、11月中旬頃に会議録(速報版)を掲載します。なお、市議会・市ホームページの会議録検索システムでの閲覧は、12月下旬頃からとなります。

議員 ポストコロナ時代の新しいまちづくりを目指し、コロナ禍により苦しむ市民、事業者への支援継続が必要である。今後の財政運営について見解を尋ねる。

市長 コロナ禍を契機とした新たな財政需要等により本市は今後、厳しい財政状況が続くと見込まれるが、市民生活や



9月9日 会派質疑
無所属の会 田中 常郎
ポストコロナ時代の本市の財政運営について
30分

本会議では次の、のべ37人が質疑・質問を行いました。掲載記事の順番は発言順です。なお、掲載している時間(分)は、議員の発言時間(執行部の答弁を含む)です。各日付の下にあるQRコードから、質疑・質問と答弁の動画をご覧いただけます。

※日本共産党の藤沢加代議員は9月15日に一般質問も行いました。

※公明党の岡本義之議員、井上しんごの井上しんご議員は9月28日に一般質疑も行いました。

議員 今回の事故を受け本市家庭局長は直ちに、送迎バスを使用する保育所の運行状況を再点検し全保育所へ安全管理徹底を通知した。安全管理対策については定期監査や巡回調査等にて指導を行うとともに、配付するマニュアルに基づき日頃から実践していた。今後も安全安心な保育の提供に全力で取り組んでいく。



9月9日 一般質問
ハル北組 白石 一裕
保育所の安全管理体制に対する指導状況について
60分

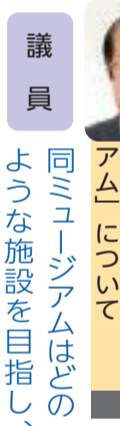
地域経済等の変化を的確に捉え、将来の税源の涵養につながる政策や一層の行財政改革等を通じて、歳入・歳出面からの収支改善を着実に推進し、持続可能で安定的な財政運営に鋭意、努めていく。

議員 同じミュージアムはどのような施設を目指し、また、戦争を知らない子どもたちの平和学習の場として、どのような取組を検討しているのか尋ねる。

市長 同じミュージアムは、来館者が市民の戦争体験や当時の暮らしに触れ、戦争の悲惨さなどを考えるきっかけとなることを目指しており、取組については親子で地域の歴史や平和の大切さを学ぶ講座等、関係団体等と協議し積極的に進めていきたい。戦争を知らない世代の方々が平和の大切さなどを感じられる施設となるよう鋭意、取組を進めていく。

議員 全国で、新型コロナウイルスに感染する事例が出ています。臨時の医療施設の設置等により、自宅療養者や入院調整中の方をなくすべく、

市長 同ウイルスの感染拡大に伴う一時的な入院病床等の逼迫による、やむを得ぬ自宅療養者の発生は今後も想定する必要があります。本市は県と連携し入院病床の増床や、酸素投与可能な入院待機施設設置の調整等に取り組んでいる。今後も引き続き入院病床等の更なる確保、臨時の医療施設の設置等に尽力する。



9月9日 一般質問
公明党 本田 忠弘
平和のまちミュージアムについて
60分

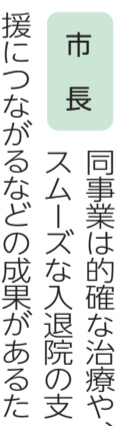
議員 市民が受けた医療等の情報を共有し24時間、医療機関等が確認できる「とびうめ@きたきゅう」は救急搬送時の初期対応の迅速化等に役立つため、同事業の登録者増加を図るべき。

市長 同事業は的確な治療やスムーズな入院の支援につながるなどの成果があるため、本市は市政だよりなどによる広報や、自治会等のご協力による普及促進により登録者増加を図っている。今後も同事業を活用して切れ目ない医療・介護サービスなどを提供し、健康寿命の延伸にも貢献できるよう取り組む。



議員 国産風車メーカー不在の中、洋上風力関連産業の集積を進めるには世界のメジャー風車メーカーとの連携が必須と思われるが、同メーカーの本市への進出の可能性について尋ねる。

港湾空 港局長 本市及び近隣市域には、風車心臓部付け用の耐荷重性の高い用地の候補地や、主要部品を製造する企業が存在するとともに、北九州港が最終組み立て可能な基地港湾へ指定されるなどメジャー風車メーカー進出の条件は整いつつある。早期進出に向け企業や国等と連携し、メーカーへの働きかけを強化していく。



9月9日 一般質問
公明党 木下 幸子
健康寿命延伸に向けた取組について
60分

議員 全国で、新型コロナウイルスに感染する事例が出ています。臨時の医療施設の設置等により、自宅療養者や入院調整中の方をなくすべく、

市長 同ウイルスの感染拡大に伴う一時的な入院病床等の逼迫による、やむを得ぬ自宅療養者の発生は今後も想定する必要があります。本市は県と連携し入院病床の増床や、酸素投与可能な入院待機施設設置の調整等に取り組んでいる。今後も引き続き入院病床等の更なる確保、臨時の医療施設の設置等に尽力する。

議員 全国で、新型コロナウイルスに感染する事例が出ています。臨時の医療施設の設置等により、自宅療養者や入院調整中の方をなくすべく、

市長 同ウイルスの感染拡大に伴う一時的な入院病床等の逼迫による、やむを得ぬ自宅療養者の発生は今後も想定する必要があります。本市は県と連携し入院病床の増床や、酸素投与可能な入院待機施設設置の調整等に取り組んでいる。今後も引き続き入院病床等の更なる確保、臨時の医療施設の設置等に尽力する。



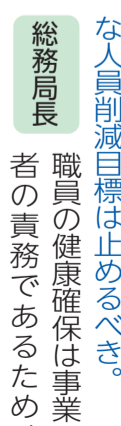
9月9日 一般質問
公明党 木下 幸子
健康寿命延伸に向けた取組について
60分

議員 全国で、新型コロナウイルスに感染する事例が出ています。臨時の医療施設の設置等により、自宅療養者や入院調整中の方をなくすべく、

市長 同ウイルスの感染拡大に伴う一時的な入院病床等の逼迫による、やむを得ぬ自宅療養者の発生は今後も想定する必要があります。本市は県と連携し入院病床の増床や、酸素投与可能な入院待機施設設置の調整等に取り組んでいる。今後も引き続き入院病床等の更なる確保、臨時の医療施設の設置等に尽力する。

議員 国産風車メーカー不在の中、洋上風力関連産業の集積を進めるには世界のメジャー風車メーカーとの連携が必須と思われるが、同メーカーの本市への進出の可能性について尋ねる。

港湾空 港局長 本市及び近隣市域には、風車心臓部付け用の耐荷重性の高い用地の候補地や、主要部品を製造する企業が存在するとともに、北九州港が最終組み立て可能な基地港湾へ指定されるなどメジャー風車メーカー進出の条件は整いつつある。早期進出に向け企業や国等と連携し、メーカーへの働きかけを強化していく。



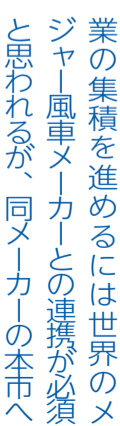
9月10日 一般質問
無所属の会 三原 朝利
響灘洋上風力総合拠点化プロジェクトについて
30分

議員 国産風車メーカー不在の中、洋上風力関連産業の集積を進めるには世界のメジャー風車メーカーとの連携が必須と思われるが、同メーカーの本市への進出の可能性について尋ねる。

港湾空 港局長 本市及び近隣市域には、風車心臓部付け用の耐荷重性の高い用地の候補地や、主要部品を製造する企業が存在するとともに、北九州港が最終組み立て可能な基地港湾へ指定されるなどメジャー風車メーカー進出の条件は整いつつある。早期進出に向け企業や国等と連携し、メーカーへの働きかけを強化していく。

議員 国産風車メーカー不在の中、洋上風力関連産業の集積を進めるには世界のメジャー風車メーカーとの連携が必須と思われるが、同メーカーの本市への進出の可能性について尋ねる。

港湾空 港局長 本市及び近隣市域には、風車心臓部付け用の耐荷重性の高い用地の候補地や、主要部品を製造する企業が存在するとともに、北九州港が最終組み立て可能な基地港湾へ指定されるなどメジャー風車メーカー進出の条件は整いつつある。早期進出に向け企業や国等と連携し、メーカーへの働きかけを強化していく。



9月10日 一般質問
無所属の会 三原 朝利
響灘洋上風力総合拠点化プロジェクトについて
30分

議員 国産風車メーカー不在の中、洋上風力関連産業の集積を進めるには世界のメジャー風車メーカーとの連携が必須と思われるが、同メーカーの本市への進出の可能性について尋ねる。

港湾空 港局長 本市及び近隣市域には、風車心臓部付け用の耐荷重性の高い用地の候補地や、主要部品を製造する企業が存在するとともに、北九州港が最終組み立て可能な基地港湾へ指定されるなどメジャー風車メーカー進出の条件は整いつつある。早期進出に向け企業や国等と連携し、メーカーへの働きかけを強化していく。

議員
自民の会 西田 一
スマート農業の推進について
60分

議員
公明党 渡辺 徹
地方創生の推進について
30分

議員
日本共産党 山内 涼成
被爆2世の医療費補助について
30分

議員
若松を愛する会 本田 一郎
「コロナ禍における観光業支援について」
30分

議員
若松を愛する会 本田 一郎
「コロナ禍における観光業支援について」
30分

議員
若松を愛する会 本田 一郎
「コロナ禍における観光業支援について」
30分

農業従事者の高齢化等に対応するため、ICTを活用したスマート農業を導入すべきだが、熟練農業者の理解促進等のため、費用や効果を実証するモデル事業を実施してはどうか。

本市が地方創生のブランド「NewU」を作り、若い世代にターゲットを絞った情報発信を強化するという、これまでにない取組に期待する。当事業の狙いなどについて尋ねる。

同電子化には、自治体間の情報互換性の確保や、予診票への医師等による署名の代替手段の整備等、課題がある。現在、国が電子化の検討に向けた実証実験を進めており、本市も同電子化は子育て世代の負担軽減等に有効であると考え、国の検討状況を注視し、遅れずに対応できるよう努めていく。

一定の集団規模を確保し教育効果を十分に発揮するための学校の統合に当たっては地域住民等から地域の課題等を聞きながら進めており、統合後のアンケートでは児童の約9割が統合してよかったと回答した。学校規模適正化の取組は、児童生徒の教育環境の整備による教育効果の向上に寄与すると考えている。

福岡県は、広島・長崎県に次いで被爆者が多い。一部の自治体では被爆2世への医療費助成を行っているため、非核平和都市を宣言している本市も同助成を行うべきではないか。

新型コロナウイルスの感染拡大によりひっそりしている観光産業全般に対し本市はどのような独自の支援を行っているのか。また、「コロナ後の支援策を検討すべきだが見解を尋ねる。

スマート農業は生産性の向上や農作業の省力化等が期待されるが、本市ではドローンによる農薬散布等の利用が一部にとどまっているため今後、農家等と協議しスマート技術とのマッチングを行う予定である。同モデル事業は国が実施しているため本市は採択に向け取り組み、今後も同農業の啓発普及を進める。

同ブランドは本市の様々な地方創生の取組を効果的に発信するためクリエイティブディレクターと一緒に作成し、若者が魅力を感じる政策の発表時等に活用する。今後も若者の柔軟で斬新な発想によるイノベーションを創出し経済活性化にもつなげていきたい。

本市の貯金である財源調整用基金が減少し続け、昨年度はコロナ禍で市税収入も減少したが、イベント中止の判断が遅れ予算消化する事業もあった。財政状況について見解を伺う。

公立幼稚園の在り方については公・私立幼稚園や学識経験者からの意見聴取、教育委員の現地視察による公立幼稚園長からの説明等を実施のうえ、市議会からの要望や意見を踏まえ全廃の方針を決定し常任委員会に報告した。様々な意見をいただき丁寧な検討を重ねており、廃止を撤回する考えはない。

現在、国は被爆2世の方々の遺傳的影響の調査研究結果に基づき国が必要な支援策を講じると考えるため、本市は引き続き県と連携し、国の取組に協力していく。

動物愛護センターの取組を紹介し、市民の動物愛護への意識啓発につなげるため、同センターを一般公開し見学していた「オープンデー」を開催してはどうか、見解を伺う。

若松区では4月から街でのサルの目撃情報が寄せられ、かまれるなど被害を受けた方が急増している。これまでのサルの出没・被害状況と、今後の被害防止の取組について尋ねる。

同区域区分の見直しは災害の危険性が高い地域からの移転や、危険な老朽空き家解体促進等の取組との相乗効果により、緩やかだが着実にコンパクトなまちづくりに寄与するよう取り組んでいる。見直し候補地は関係者の意見を伺うため提案として示したものであり、今後も意見を伺いながら丁寧に取り組む。

子どもたちの存在は地域活動の原動力であり、特に山間地では避難所等としても学校は貴重な公共施設である。学校の役割を踏まえ、運営コスト面

今年4月から続く新型コロナウイルスによる感染の推移やワクチン接種状況等を踏まえ、今後「このような状態を目指す」との本市の目標を尋ねる。

本市では2回目のワクチン接種の7日経過後、同感染症に感染した方は全接種者の約0.06%であり、接種は極めて有効だと考える。ワクチンの予約・接種が順調に進めば11月半ばには、ほぼ全ての希望者の2回接種が完了する見込みであり、今後も市民が早期に接種を完了できるように全力で取り組んでいく。

新型コロナウイルスの感染拡大により同センターの啓発イベントなどが軒並み中止となる中、「致死処分ゼロ社会宣言」を行った本市としては、動物愛護思想の啓発の機会となる「オープンデー」は有意義と考え、今後の同感染症の拡大状況を見ながらボランティア団体と連携し、実施に向け検討していく。

議員
ハトハ州 三宅 まゆみ
若松区でのサルによる被害について
60分

議員
自民の会 日野 雄二
逆線引き制度とコンパクトシティの関連について
30分

議員
変革と成長 井上 純子
本市の財政状況について
30分

議員
自民党 無所属の会 中村 義雄
コロナに関する今後の目標について
60分

議員
ハトハ州 世良 俊明
新型コロナウイルスについて
60分

議員
ハトハ州 森本 由美
動物愛護の推進について
30分

同電子化には、自治体間の情報互換性の確保や、予診票への医師等による署名の代替手段の整備等、課題がある。現在、国が電子化の検討に向けた実証実験を進めており、本市も同電子化は子育て世代の負担軽減等に有効であると考え、国の検討状況を注視し、遅れずに対応できるよう努めていく。

公立幼稚園の在り方については公・私立幼稚園や学識経験者からの意見聴取、教育委員の現地視察による公立幼稚園長からの説明等を実施のうえ、市議会からの要望や意見を踏まえ全廃の方針を決定し常任委員会に報告した。様々な意見をいただき丁寧な検討を重ねており、廃止を撤回する考えはない。

今年4月から続く新型コロナウイルスによる感染の推移やワクチン接種状況等を踏まえ、今後「このような状態を目指す」との本市の目標を尋ねる。

本市では2回目のワクチン接種の7日経過後、同感染症に感染した方は全接種者の約0.06%であり、接種は極めて有効だと考える。ワクチンの予約・接種が順調に進めば11月半ばには、ほぼ全ての希望者の2回接種が完了する見込みであり、今後も市民が早期に接種を完了できるように全力で取り組んでいく。

動物愛護センターの取組を紹介し、市民の動物愛護への意識啓発につなげるため、同センターを一般公開し見学していた「オープンデー」を開催してはどうか、見解を伺う。

動物愛護センターの取組を紹介し、市民の動物愛護への意識啓発につなげるため、同センターを一般公開し見学していた「オープンデー」を開催してはどうか、見解を伺う。

同電子化には、自治体間の情報互換性の確保や、予診票への医師等による署名の代替手段の整備等、課題がある。現在、国が電子化の検討に向けた実証実験を進めており、本市も同電子化は子育て世代の負担軽減等に有効であると考え、国の検討状況を注視し、遅れずに対応できるよう努めていく。

公立幼稚園の在り方については公・私立幼稚園や学識経験者からの意見聴取、教育委員の現地視察による公立幼稚園長からの説明等を実施のうえ、市議会からの要望や意見を踏まえ全廃の方針を決定し常任委員会に報告した。様々な意見をいただき丁寧な検討を重ねており、廃止を撤回する考えはない。

今年4月から続く新型コロナウイルスによる感染の推移やワクチン接種状況等を踏まえ、今後「このような状態を目指す」との本市の目標を尋ねる。

本市では2回目のワクチン接種の7日経過後、同感染症に感染した方は全接種者の約0.06%であり、接種は極めて有効だと考える。ワクチンの予約・接種が順調に進めば11月半ばには、ほぼ全ての希望者の2回接種が完了する見込みであり、今後も市民が早期に接種を完了できるように全力で取り組んでいく。

動物愛護センターの取組を紹介し、市民の動物愛護への意識啓発につなげるため、同センターを一般公開し見学していた「オープンデー」を開催してはどうか、見解を伺う。

動物愛護センターの取組を紹介し、市民の動物愛護への意識啓発につなげるため、同センターを一般公開し見学していた「オープンデー」を開催してはどうか、見解を伺う。

同電子化には、自治体間の情報互換性の確保や、予診票への医師等による署名の代替手段の整備等、課題がある。現在、国が電子化の検討に向けた実証実験を進めており、本市も同電子化は子育て世代の負担軽減等に有効であると考え、国の検討状況を注視し、遅れずに対応できるよう努めていく。

公立幼稚園の在り方については公・私立幼稚園や学識経験者からの意見聴取、教育委員の現地視察による公立幼稚園長からの説明等を実施のうえ、市議会からの要望や意見を踏まえ全廃の方針を決定し常任委員会に報告した。様々な意見をいただき丁寧な検討を重ねており、廃止を撤回する考えはない。

今年4月から続く新型コロナウイルスによる感染の推移やワクチン接種状況等を踏まえ、今後「このような状態を目指す」との本市の目標を尋ねる。

本市では2回目のワクチン接種の7日経過後、同感染症に感染した方は全接種者の約0.06%であり、接種は極めて有効だと考える。ワクチンの予約・接種が順調に進めば11月半ばには、ほぼ全ての希望者の2回接種が完了する見込みであり、今後も市民が早期に接種を完了できるように全力で取り組んでいく。

動物愛護センターの取組を紹介し、市民の動物愛護への意識啓発につなげるため、同センターを一般公開し見学していた「オープンデー」を開催してはどうか、見解を伺う。

動物愛護センターの取組を紹介し、市民の動物愛護への意識啓発につなげるため、同センターを一般公開し見学していた「オープンデー」を開催してはどうか、見解を伺う。





公明党 松岡 裕一郎
30分
三萩野歩道橋へのエレベーターの設置について

議員 平成26年の本会議で要望した、バリアフリー化のための同歩道橋南側へのエレベーターの設置について、早期実現に向けた取組状況を尋ねる。

市長 本市はこれまで、同歩道橋の管理者である国に対し設置の要請等を重ねてきたが、昨年度、隣接する土地の建物撤去を機に改めて、国とともに所有者へ協力を要請した結果、同土地内へのエレベーターの設置によるバリアフリー化について、ご理解をいただいた。本市は引き続き国と連携し、早期実現に向け、所有者との協議を進めていく。



無所属の会 大石 仁人
30分
学校における特別なカリキュラムについて

議員 新型コロナウイルス支援学校のカリキュラムは単に通常に戻すのではなく、子どもの笑顔と元気を取り戻すための特別なものとする必要があるのか。

教育長 各学校では、コロナ対策により教育活動が制限される中、児童生徒主体で様々な工夫を行い、楽しく心に残る行事が行われてきた。現在、コロナ収束後の新しい学校行事の創出等、魅力的な教育活動に取り組もうとする機運が高まっており、本市は今後も、頑張る学校を積極的に支援していきたい。



日本共産党 永井 佑
30分
学生支援について

議員 学生への食料支援は生活支援だけでなく、フードロス解消等にも資するため、学生用ポータルサイトや市公式LINEなどを活用し食料支援団体の情報を積極的に提供すべき。

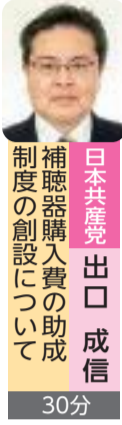
企画調整局長 市内約3万人の学生へ必要とする市民に食料支援が行き渡らなくなるとの懸念がある。また、大学においても食料品の安全・安心の確保等の課題があり、事業ごとに慎重に判断したいとの意見であるため、市の直接広報は困難だが、当相談があれば内容に応じ大学等につないでいきたい。



日本維新の会 篠原 研治
30分
わいせつ行為を行った教員への対応について

議員 児童生徒へのわいせつ行為で懲戒免職となつた本市教員が過去10年で5人いるが、3年経てば教員免許の再取得が可能である。本市は同教員の採用試験受験にどう対応するのか。

教育長 同問題に対し厳正かつ実効性ある取組を行うため、本市の教員採用試験では集団討議や模擬授業等、人物重視を基本に実施するとともに、志願書への懲戒処分履歴の明記や、過去の教員免許取り上げ情報の検索など適切な採用判断を行える仕組みを作っている。今後の国の指針等も踏まえ、適切に対処していく。



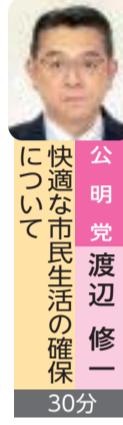
日本共産党 出口 成信
30分
補聴器購入費の助成制度の創設について

議員 本市は近所の人や友人との交流による認知機能の低下防止を呼び掛けているが、

難聴はその大きな障害となつている。社会参加の必需品である補聴器の購入費助成制度を創設すべき。

保健福祉局長 加齢性難聴は認知機能低下の要因につながる

との指摘があるが、補聴器の認知症予防効果は国が検証中であるため、本市は国に対し、検証結果の早期取りまとめと、効果がある場合における全国一律の公的な補助制度の創設を要望している。今後、他都市の対応についても注視していく。



公明党 渡辺 修一
30分
快適な市民生活の確保について

議員 環境破壊を引き起こす、ガラスによるごみ荒らしの被害に

市長 ごみステーションは長年、環境衛生総連合会等、地域の皆様に管理していただ

いており感謝申し上げます。ごみの散乱は一日も早い解決が重要であるため、本市は新たにガラス対策に効果のあるファスナー式・袋タイプの防鳥ネットの製作に向け民間事業者と協議しており、今後、効果が確認できれば本格導入する。



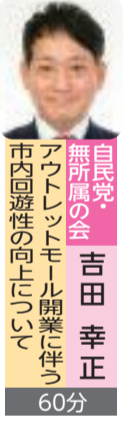
ハラル共済 奥村 直樹
30分
ペットボトルについて

議員 本市で回収したペットボトルはプラスチック製品にリサイクルされるが最終的に焼却される。半永久的にペットボトルに生まれ変わるボトルトポトルリサイクルを推進すべき。

環境局長 ボトルトポトルは天然資源を消費せずリサイクル資源循環の面で効果的であ

るため増加傾向にあり、本市は製造メーカーの製品自主回収等による質の高いリサイクルの取組に積極的に協力していく。今後も環境負荷低減とリサイクル高度化を念頭に置き、ペットボトルなどの排出削減やリサイクルを推進する。

9月15日 一般質問

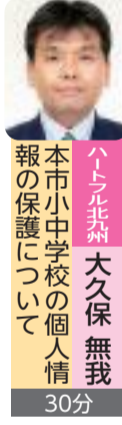


無所属の会 吉田 幸正
60分
アウトレットモール開業に伴う市内回遊性の向上について

議員 来春、スペースワールド跡地にアウトレットモールが開業する。市外からの集客は喜ばしいが、地元商店主には不安もある。市内への回遊性向上と、地元支援策等を検討すべき。

産業経済局長 本市はイオンモール株式会社と、市内観光地とアウトレットを結び送迎バス運行

等の協議を始め、同社・宿泊事業者との来訪者の滞在時間延長に係る協議も行う。今後は市内全域への回遊性向上について経済団体や様々な専門家の意見を伺うなど、開業が本市の経済の活性化につながるよう知恵を絞っていく。



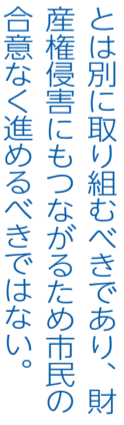
ハラル共済 大久保 無我
30分
本市小中学校の個人情報保護について

議員 大分市の小学校で、保護者の同意なく個人情報報が第三者に開示され同校長が書類送検された。本市は、PTAなど第三者への個人情報の提供に係る学校向けの指針を設けるべき。

教育長 本市は、学校向けの個人情報取り扱いの指針を適宜改定し、毎年度、研修も実施し全教職員が再確認している。第三者への個人情報提供の取り扱いや留意点等についても、今回、

同指針に加え全学校に周知したいと考えており、今後も各学校で個人情報の管理が適切かつ適正に実施されるよう努めていく。

9月15日 一般質問

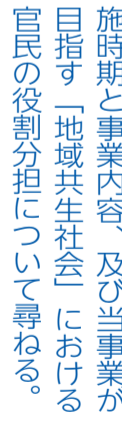


日本共産党 高橋 都
30分
区域区分の見直しと災害対策について

議員 本市の、斜面地の災害を理由とした市街化調整区域への見直し計画は災害対策とは別に取り組むべきであり、財産権侵害にもつながるため市民の同意なく進めるべきではない。

市長等 同見直しは、災害の恐れなどが見込まれる斜面地での新たな住宅開発の抑制が目的であり、居住の継続や一定条件下での建替えなども可能で、土地の効用を全て奪うものではない。

今後、説明会等での意見を精査のうえ見直し候補地の修正案を策定し再度、関係者への説明や意見聴取を行うなど丁寧に取り組む。



公明党 岡本 義之
30分
改正社会福祉法施行への対応について

議員 4月施行の改正社会福祉法に基づく「重層的支援体制整備事業」の本市での実施時期と事業内容、及び当事業が目指す「地域共生社会」における官民の役割分担について尋ねる。

市長 同事業は、いのちをつなぐネットワークコー

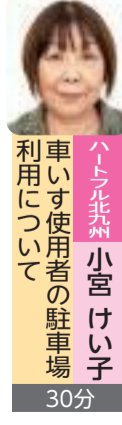
ナーを福祉部門の現場の司令塔とする本市の包括的な支援体制に、国が新たに示すアウトリーチと伴走支援の視点を順次、取り入れ実施する。地域共生社会については共助の取組を補う公的サービスの整備が必要であるため今後、関係団体等の意見を伺い進めていく。



ハラル共済 結実子
30分
がん検診等の各種健診について

議員 コロナ禍により、医療機関への受診控えが続いていると聞くが、本市のがん検診等各種健診の受診者の推移や、受診率向上のための勧奨資材の工夫について尋ねる。

市長 本市の健康調査の受診者数は、昨年1月から8月までの間、一昨年同時期に比べ全検診で減少したため、コロナ禍でも安心して受診できるように事前予約制の導入等を行った結果、大幅に改善した。受診勧奨については検診の必要性等を分かりやすく掲載したパンフレットを配布するなど、今後も受診率向上に努める。



ハラル共済 小宮 けい子
30分
車いす使用者の駐車場利用について

議員 車いす使用者が1人で自由な活動ができる場所が必要である。同区画の不適正利用防止キャンペーンを市民の心に訴える方法で実施してはどうか。

市長 同駐車場の適正利用は、障害のある方が自立した生活を送り社会参加を促進するうえで重要であり、本市は市政だよりやポスターなどでの市民周知を行ってきた。同キャンペーンについては障害者週間や、交通安全運動でのドライバーへの啓発等、これまで以上に幅広く適正利用向上に向けた取組を進めていく。





日本共産党 藤沢 加代 30分



議員 新型コロナウイルス感染症防止のため経済的支援が必要な子どもへの継続的な不織布マスクの配布と、学校でのスクリーニング検査にとどまらない定期的なPCR検査を実施すべき

教育長 本市は今回、子どもに不織布マスクの正しい着用方法や効果等を啓発するため係る経費を追加提案しており、日用品であるマスクは各家庭で用意いただきたい。定期的な検査は費用対効果等を踏まえ重症化リスクの高い児童生徒に実施するなど、子どもたちが安全安心な学校生活を送れるよう感染防止対策を進める

請願・陳情の審議結果 市政に関する要望があるときは、どなたでも市議会に請願書や陳情書を提出することができます。令和3年9月定例会では、請願6件、陳情48件が継続審査となりました。

お知らせ ●視覚障害(1級か2級)のある方に、市議会だよりの点字版、テキスト版CD、音声版CDなどを無料でお届けします。【問い合わせ】市議会事務局政策調査課 ☎582-2632 FAX 582-2685 ●聴覚障害のある方が本会議の傍聴を希望される場合には、要約筆記者や手話通訳者の派遣先を紹介しています。事前にお問い合わせください。【問い合わせ】市議会事務局総務課 ☎582-2621 FAX 561-1021

決算特別委員会 市長質疑の様子は、市議会ホームページでご覧いただけます。

9月24日に行われた市長への質疑項目です。https://www.city.kitakyushu.lg.jp/sigikai/g0200122.html



第1分科会 【所管】(総務財政委員会、経済港湾委員会) ・会計室・デジタル市役所推進室・秘書室・広報室 ・企画調整局・総務局・財政局・産業経済局 ・港湾空港局・公営競技局・農業委員会 ・他の常任委員会の所管に属しない事項 【質疑項目】 自民党・無所属の会 ① コロナ下での地方創生について 公明党 ② 本市の奨学金返済支援について ③ ワークেশンの推進について ④ ふるさと寄附金について ハートフル北九州 ⑤ 中小事業者の支援について ⑥ コロナ禍の市税滞納問題解決にFP窓口のさらなる活用について ⑦ ムーブフェスタのさらなる充実について 日本共産党 ⑧ 「行革」による長時間残業の解消について ⑨ 門司港地域複合公共施設整備事業について 自民の会 ⑩ 令和2年度空港関連事業について ⑪ 観光にぎわいづくりの推進について 日本維新の会 ⑫ 「お試し居住」の拡充について 変革と成長 ⑬ 本市の行財政改革について 若松を愛する会 ⑭ 鳥獣被害対策について

第2分科会 【所管】(教育文化委員会、保健福祉委員会) ・市民文化スポーツ局・教育委員会 ・保健福祉局・子ども家庭局 【質疑項目】 自民党・無所属の会 ① 2021世界体操・新体操選手権北九州大会について ② 緊急事態宣言後の授業実施上の留意点について ③ 新型コロナウイルス感染症に対する検査体制について 公明党 ④ 新型コロナウイルス対策について ⑤ 児童生徒及び若者等の健全育成について ⑥ コロナ禍のフレイル対策について ハートフル北九州 ⑦ 新型コロナウイルス感染症に関する情報公開の方法について ⑧ 加速する少子化への対策強化について 日本共産党 ⑨ 文化芸術活動再開支援事業の拡充について ⑩ ヤングケアラーについて ⑪ 保健所の機能強化と増設について ⑫ 防犯灯のLED化促進と、維持管理費の町内会負担軽減について 日本維新の会 ⑬ 発達障害児早期支援システム研究事業について 村上さとこ ⑭ コロナ禍での学校のあり方、子供の居場所確保について

第3分科会 【所管】(環境水道委員会、建設建築委員会) ・危機管理室・環境局・消防局・上下水道局 ・技術監理局・建設局・建築都市局・交通局 【質疑項目】 自民党・無所属の会 ① 公共交通事業者への感染防止対策支援について ② コロナ禍における家庭ごみ等の収集について 公明党 ③ CO2削減目標の着実な達成について ④ グリーンスローモビリティの導入活用について ⑤ 下関北九州道路について ハートフル北九州 ⑥ 皿倉表登山道の被災状況とその影響について ⑦ 誰もが利用しやすい公共交通について 日本共産党 ⑧ 区域区分の見直しについて ⑨ 市営住宅「仲通り団地」南側の擁壁について 自民の会 ⑩ 災害に強くコンパクトなまちづくり推進事業について ⑪ 老朽空き家等除去促進事業について ⑫ 住むなら北九州 定住・移住推進事業について 日本維新の会 ⑬ 草刈りせん定の業務委託への最低制限価格の導入について 井上しんご ⑭ 黒崎バイパス及び戸畑枝光線と戸畑バイパスとの接続について

令和3年9月定例会 議案に対する各会派の賛否一覧 詳細は、市議会ホームページでご覧いただけます。

https://www.city.kitakyushu.lg.jp/files/000949569.pdf



種別	件名	議決結果	自民・無	公明党	ハート	共産党	自民の会	維新の会	変革	井上	村上	若松
市長が提出した議案	特別会計決算(食肉センター等)	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	特別会計決算(母子父子寡婦福祉資金)	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	特別会計決算(国民健康保険等)／事業会計決算(交通事業等)	認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	一般会計決算	認定	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○
	事業会計に係る利益の処分及び決算(上水道等)	可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	事業会計に係る利益の処分及び決算(下水道等)	可決及び認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	平和のまちミュージアム条例／教育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正／産業観光施設の設置及び管理に関する条例の一部改正 など	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員が提出した議案	手数料条例の一部改正／社会福祉施設の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	高規格救急自動車の取得／太刀浦コンテナクレーン更新工事(R3)請負契約締結 など	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	特別会計補正予算(卸売市場(第1号)等)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
	一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	教育委員会委員の任命／人事委員会委員の選任／人権擁護委員候補者の推薦	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	北九州市議会会議規則の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律の改正を求める意見書／新型コロナウイルス感染症の効果的な治療薬の早期の研究開発と供給の確保を求める意見書／出産育児一時金の増額を求める意見書／国民の命と暮らしを守る新型コロナウイルス感染症対策の実施を求める意見書／大雨等による災害対策の充実強化を求める意見書／通学路の安全強化に対し継続的な財政措置を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	可決	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○
	「こども庁」設置を求める意見書	可決	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○
選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論を求める意見書	可決	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
名古屋出入国在留管理局の死亡事案の再発防止のために情報公開等を求める意見書	否決	×	×	○	○	×	○	×	○	○	×	
コロナ禍で苦しむ中小企業者を淘汰する資格請求書等保存方式(インボイス制度)の実施中止を求める意見書／臨時医療施設の設置及び保健所の強化・増設を求める意見書／世界的な気候危機打開へ2030年度までに温室効果ガスの50パーセント以上の削減を求める意見書	否決	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×	
「ワンヘルスの推進」に関する決議／希望される全ての方が早期かつ確実に新型コロナワクチンを接種できる体制の整備等を求める決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市民の命、暮らしを優先するために「2021世界体操・新体操選手権北九州大会」の中止を求める決議	否決	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	

【各会派の一般的な名称】 自民・無：自民党・無所属の会 公明党：公明党 ハート：ハートフル北九州 共産党：日本共産党 自民の会：自民の会 維新の会：日本維新の会 変革：変革と成長 井上：井上しんご 村上：村上さとこ 若松：若松を愛する会